

# 目指せ!令和の働き方改革

## ～女性活躍推進実践企業の事例紹介～

男性も女性も、ともに働きやすい職場環境づくりに向けて、唐津市内で積極的に取り組まれている団体と企業のトップに、座談会形式でお話をうかがいました。

事例紹介 唐津農業協同組合：代表理事組合長 堤武彦さん(えるぼし認定\*1)

唐津土建工業株式会社：代表取締役社長 岩本真二さん(くるみん認定\*2)

\*1 えるぼし認定とは：「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき、一定基準（評価項目：採用、継続就業、労働時間等の働き方等）を満たし、女性の活躍推進に関する状況などが優良な企業を、厚生労働大臣が認定する制度です。

\*2 くるみん認定とは：「次世代育成支援対策推進法」に基づき、一般事業主行動計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業を、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣が認定する制度です。

### －女性活躍推進に取り組むようになったきっかけを教えてください。

堤) 農業は、男女関係なく家族と一緒に頑張らないとできない仕事なので、特に女性活躍推進ということ意識したのではなく、もともと女性もしっかり働いてもらおうという認識でした。しかし、そういう風土はあったものの、管理職は男性の方が向いているという意識を持つ女性が多く、上司が背中を押す必要性を感じて、いろいろと勉強しました。



(中央)堤さん (右)岩本さん

岩本) 建設業というのは、男性にも女性にもなかなか選んでもらえない業種なので、会社として魅力あるものを用意しなければならない。そこで、人の魅力があふれる会社を目指して、「愛と信頼で働き方改革」というスローガンを掲げています。そして、社員全体を育てていく教育体制をつくっていく中で、女性が働きやすい環境も整えなければいけないと考え、取り組みを始めました。

### －具体的にどのようなことに取り組まれていますか。

堤) 残業を減らしたり、リフレッシュのために休暇を取るようになっていきます。残業をしなくてもすむ仕事の進め方や、休暇を取りやすい職場環境をつくるのが重要だと考えています。また、子育て中の職員がいる部署では、子どもの急な発熱などで仕事を休まなくてはならないときは、農業で言われる「結(ゆ

い、協力し合う相互扶助の精神による共同作業)」の考え方で、みんなで支え合おうと言っています。

岩本) 我々建設業はもともと女性が少ない業種です。小さな会社でも様々な職種の社員がいる中で、女性社員の声をどう拾うかということをまず考えました。そこで、社内に女性活躍を支援するポストをつくり、女性の専任者を配置しました。そして、現場で働く女性や事務職の女性がどういうことを求めているかという声を拾い上げ、さらにマネジメントする立場になろうとする意識があるのかどうかを半年に一度、ヒアリングを行っています。それらの声を各職場の上司に伝え、それぞれに理解を促し、必要に応じて改善し、その状況を幹部社員で共有化することを始めました。

### 一取り組んでいく中で難しかったことはありますか。

堤) 能力を十分評価して、女性に管理職を引き受けてくれないかと声を掛けても、本人が引っ込み思案になると無理は言えないので、なかなか難しいです。我々としては、一步踏み出す勇気を出せるよう、周囲のサポート体制を整え、女性の管理職に余計な負担がないようにすることが必要だと感じています。



岩本) 取り組みを社内でいかに浸透させていくかが永遠のテーマですね。「見える化」「言える化」「聞ける化」という、お互いの情報を知ることができる職場環境をつくり、上司と部下双方向のコミュニケーションをしっかりと取ろうとずっと言い続けています。そして、社員の声は直接の上司だけでなく、他のスタッフを通じて横からも拾う仕組みをつくっています。また、年配の社員の中には女性活躍を意識して「女性を大事にする=作業量を減らす」という傾向もあったので、男女関係なく同じように指導し、仕事を割り振ってもらうようお願いしました。

### 一経営面でプラスの効果はありましたか。

堤) 金融機関として窓口対応のある部署で女性管理職を増やしていますが、お客様の中には、支所長が女性だと、最初は「えっ」と思われる方もいます。しかし、そのうち満足度が上がり、きめ細やかに対応してもらえると良い評価の声が耳に入ってきています。

岩本) お客様とのやり取りで、住宅の場合は、そのお宅の女性の意見が結構ありますが、男性の技術社員だとお客様の要望になかなか気づけないことがありました。CS活動(顧客満足度を上げる活動)として、女性社員と一緒にお客様を訪問して対応することで、仕事に付加価値をつけられるようになりました。また、女性社員が活躍すると、男性社員にとってはライバルが突然出現した感じになり、社内の活性化にもなっています。会社に取り組もうとしている「人を大切にする会社」ということを、社員が改めて認識しているのかなと感じています。

### 一ワーク・ライフ・バランスをどのように考えますか。

堤) 私はライフを重視しすぎて、ワーク・ライフ・アンバランスで妻に叱られています(笑)。以前農家だった

ときは、やるべき時間にはきっちり仕事をして、フリーの時間は好きなことをさせてもらいました。職員にも、例えば長期休暇を取って旅行にでも行ってリフレッシュして欲しいです。色々なところに行き、見聞を広めると、それが仕事にも生かせるというメリットがありますが、仕事が属人化していたら本人も休めないし、周りも手助けができません。休むために仕事の段取りをつけたり、お互いにカバーし合ったり、効率化できるきっかけにもなると思います。

岩本) 私も好奇心を持って海に潜ったり山に登ったりしていますが、今は佐賀県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO(サガトコ)」にはまっています。社員にも健康増進のために登録を勧めています。好奇心を持っていたら、いろいろな場面で面白い自分の楽しみ方がいくらかもあると思うんです。そういう生き方をずっとしていきたいと思いますね。社員にも自分の人生を楽しんで欲しい。仕事と家庭だけではなく、趣味でも消防団やボランティア活動など、どんどん参加することで、人生が豊かになると思います。

### —今後の目標などはありますか。

堤) フレックスタイム制やテレワークなど、育児で制約があってもきちんと仕事ができるような環境を作ることが、女性の活躍を広げるのには必要だと思います。そして、制度とか物理的な環境よりも重要なのは、意識の問題です。職員みんなの頭(意識)を変えないと、今後、組織が回っていかなくなることを徐々に浸透させたいと思っています。



岩本) 男女を問わずそれぞれの個性を生かし、力を発揮して、組織の中での役割を感じて働ける、そういう職場を目指していきたいです。

### —他の企業のトップに一言お願いします。

堤) 会社を発展させるためには女性の力が必要です。そういう風土がしっかり出来てくれば、女性の管理職も増えて、生き生きと働けるようになります。意識を変えるのは難しいけれども、そこからやっていかなければなかなか人は育たない。やっぱり組織全体で取り組んでいった方が、スムーズに行くんじゃないでしょうか。

岩本) みんなが各々の役割を果たしていくという意識で働かないと、地方は寂れていってしまう。人口減少の中で地方を支えていくためには、組織の中でそれぞれの社員をしっかり生かしていくことが社会貢献につながると思います。そのために女性活躍という切り口で取り組むことも一つの手法だと思いますし、大いにそれに取り組んでいただいて、社会参画していただけるような世の中になっていけばと思っています。

### —最後に、働く女性たちにメッセージをお願いします。

堤) 女性活躍推進は、政府が後押しし、経営者もやらなければならないと思っています。女性自身にも声

を上げてもらうことが、企業や社会の発展に重要じゃないかと思っています。声を上げるのは難しいかもしれませんが、我々も女性が声を上げやすいように取り組んでいけば、どんどん進んでいくと思います。

岩本) 私も、声を上げるということが大事だと思います。それぞれの個性の中で、組織や社会に貢献できる部分が必ずあるので、それを発信して周りに伝えること。遠慮しないで引っ込み思案にならないで声を出してくれば、あとは組織の周りの人がそれをうまく生かすことが大事だと思います。



唐津農業協同組合(JA からつ)【H31.3月えるぼし認定】(代表理事組合長 堤武彦さん\*写真中央)

住所/〒849-5131 佐賀県唐津市浜玉町浜崎 598 番地 | 電話/0955-70-5222

URL/<http://www.ja-karatsu.or.jp/>

業種/ 複合サービス業

従業員数/全従業員数:506名(うち女性:192名)

女性管理職の人数・管理職に占める女性の割合/ 5名・8.06% ※2020年2月現在

唐津土建工業株式会社【H31.3月くるみん認定】(代表取締役社長 岩本真二さん\*写真左)

住所/〒847-0861 佐賀県唐津市ニタ子 2丁目 7-51 電話/0955-73-3118

URL/<http://www.karatsu.co.jp/>

業種/建築・土木・舗装・造園・上下水道工事、宅地建物取引業、関連営業等

従業員数/全従業員数:123名(うち女性:17名)

女性管理職の人数・管理職に占める女性の割合/ 0名・0% ※2020年2月現在

【インタビュアー】中倉誠二

(NPO 法人ファザリング・ジャパン九州 九州イクボスプロジェクト/中小企業診断士)\*写真右

発行:唐津市(令和2年3月発行)

制作:NPO 法人ファザリング・ジャパン九州 九州イクボスプロジェクト